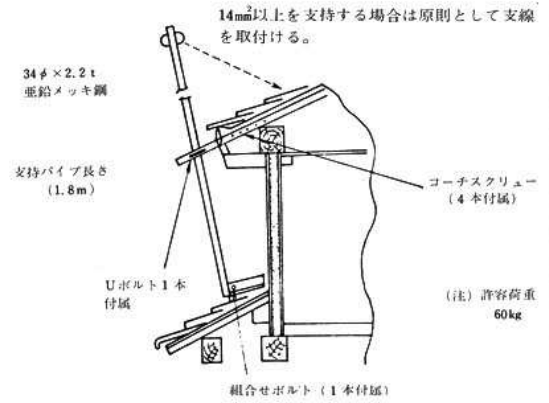




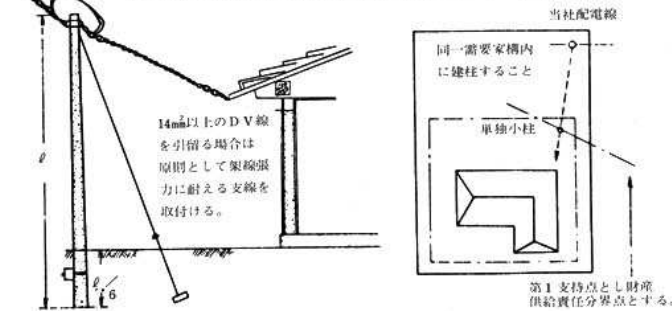
### 8. 小柱の工事方法

#### (1) 引込線支持パイプ施工例



#### (2) 単独小柱の施工例

屋上離隔、大邸宅内等直接引込線を取付けられない場所を使用する。



- 単独小柱は臨時施設を除き鋼管柱、鋼板組立柱（バンザーマスト）鉄筋コンクリート柱のいずれかであり、かつ引込線張力に十分耐えられる強度を有するものであること。
- 地盤なん弱な場合は、コンクリートで根巻き工事または根柢丸太等を施し補強する。
- 単独小柱は需要家構内に施設すること。

### 9. 公社柱への引込線共架基準

(東海電気通信局関係)

#### (1) 適 用 範 囲

この基準は、つぎの条件により電々公社柱（以下公社柱という。）へ電力の引込線を共架する場合に適用する。

- (1) 公社柱への低圧引込線共架は、公社線路がケーブル（RDワイヤ・SDワイヤを含む）で、かつ、切替盤、集線装置、装荷線端、引上管路等が取り付けられていない柱とする。

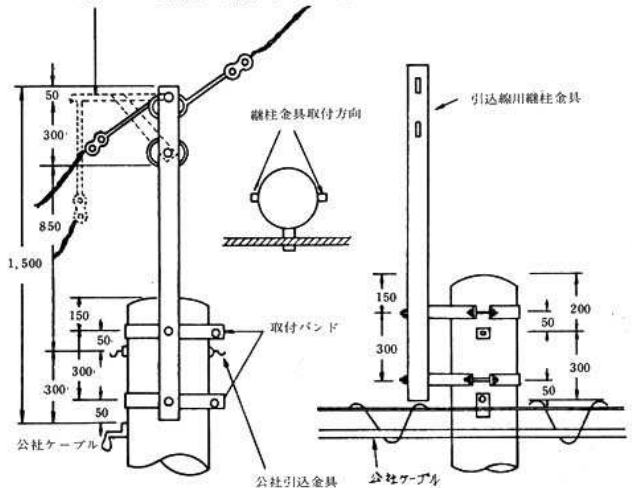
注 引込線共架後に上記の共架用支柱となったものは、この限りでない。

- (2) 公社柱に共架する引込線は、公社柱に引込線用継柱金具を取り付けて、これに取り付けるものとする。

#### (2) 引込線用継柱金具（安全率2以上）の取り付け

- (1) 公社柱への引込線用継柱金具の取り付けは、公社ケーブルが取り付けられる面と直角の位置とする。
- (2) 継柱金具の下部の取付バンド位置は、電柱頂部から450cmの位置とし、継柱取付バンドは補付カ所の2カ所のものを使用する。

(公社ケーブルと接触する場合は、Lアームを取付け離隔距離を確保する。)



※見やすいところに貼付けてご利用下さい。

# 技術委員だより

技術委員長 上村 静男

昭和四十九年十月二十四日  
三重県立津南職業訓練校  
において第十回引込および  
内線工事技能オリエンテー  
大会を三重県電気協会主  
催で開催致しました。

当日は秋晴の好天に恵れ九  
時三十分より開会式盛大大  
会中、中部電力  
津支店長並びに  
各来賓のあい  
さつのおと伊  
勢支部小川電  
気チームの小  
川光治君の選  
手宣誓をおこ  
ない続いて中  
部電力津版審  
査副委員長  
より競技概要  
およびシナール  
及課題説明が  
おこなわれた  
あと実技六百  
点学科百点計七百点減点法  
で十時二十分開始をスタート  
二十時で実技が終了後午後  
十三時より学科の課題に入  
りより開始約三十分にて終  
りこれで全課題が終了その  
後さらに津版審査副委員  
長はじめ各審査委員の採点  
が約一時間二十分におわり  
各県の予選で入賞された二  
チームずつ計十三チーム一  
合及学科に入賞されました  
総合第一位四日市支部村山



電気協会チーム第二位松阪  
支部親友電気協会チーム第  
三位松阪支部村山電気工業  
所チーム  
学科賞第一位小林勝(四日  
市支部林電気チーム) 田畑  
吉昭(四日市支部林電気チ  
ーム) 第二位小黒和昌(津  
支店)

## 電気料金口座振替に ついてのお願い

中部電力では年々増加の一  
途にある。支払いを口座振替により実  
施していただくよう努力に  
努めております。P.Rを進めてお  
くさしては、工事協力を  
必要と労働市場の結核化に  
よる新規労働力確保の困難  
な現状、更には女性の職場  
進出の増加、核家族化、シ  
ャーの活性化等による基  
金時の不在需要の増大に  
対応するため金融機関の各  
種料金支払代行制度の普及  
に歩調を合せ電気料金のお  
支払いを銀行

電力社員研修所で穏やかな  
小春日和に恵れ九時三十分  
より開会式がおこなわれ吉  
田理事開会のことば続いて  
田中大会長および各来賓の  
あいさつのおと昨年優勝の  
愛知県東部Aチーム松本輝  
雄氏の選手宣誓についで  
柴田専務理事の競技概要及  
スケジュールの説明のおと  
実技六百点学科百点計七百  
点の減点法で十時より実技  
十二時より学科が開始十三  
時十分全課題終了後津版  
審査委員長はじめ各審査  
委員の採点の結果次の方々  
が見事入賞されました。

電気協会チーム第一位愛知県名古屋B  
チーム第一位愛知県名古屋  
Aチーム第三位愛知県東部  
Aチーム学科賞第一位宮地  
美徳(東部A) 第二位増田  
治雄(東部B) 第三位増田  
幸雄(静岡A) 次回大会は  
一回戦オリエンテー大会は  
三重県として県大会には  
今以上に実技は勿論電力  
科に至るまで技術者へ  
の協力を得て中部大会には  
必ず入賞出来るよう努力し  
たいと思っております。

その他技術委員として各地  
区ごとに技術講習会もおこ  
なう計画も考へてあります  
ので諸君は各地区役員の方  
々の協力をお願いしたいと  
存じます。

お各様の口座から直接お  
客様の手をわずらわせず毎  
月一定の日に自動的に支払  
う便利な制度で「電気料金  
銀行口座振替依頼書」の提  
出をいただくだけで簡単に  
取り扱えます。

「電気料金銀行口座振替依  
頼書」は「電気使用申込書」  
に添付して提出して下さい  
お客様取扱部、預金種  
別、口座番号を記入のうえ  
銀行取引印の押印を受け済  
要事項窓口へご提出くだ  
さい。

晩秋の十一月十九・二十日  
と工組中部五県連合懇談  
の一日に加わり、かねがね  
聞かされてきた長崎県建設  
協会の斬新な組合活動の  
実態を目で見て聞く機会  
を得て委員として非常に貴  
重な勉強をさせて頂きました  
のでその概要を二報告いた  
します。

一長崎方式の発想  
二組織の統一化  
三業界の社会的価値の認  
識  
四組合活動に政治力の活  
用  
五長崎方式の主眼  
六電気工事業者の素養の探  
索  
七電気使用申込に伴う申  
請手續業務の価値の認  
識  
八法定保管書類の事業化  
九各組合員施行工事の保  
守管理  
一〇業界の責任と経営の安  
定化の促進  
一一電気使用申込手續の一  
括代行

地区全部に電線電材危機を  
訴へ諸官庁と建築関係取引  
業者に苦々の苦情をPRし  
て「私の新築の家に電線電  
材がつかない」と心配の電話  
も頂きましたがその方々に  
現在何と何と何と申すべ  
きか本当に変わらねばなら  
ないと思っております。そ  
して波瀾の黄昏を送り上り  
に強くなり、お返しに下  
りやすくなり、くすくす  
も緊急理事会を招きV.A.  
D.V.線の断絶と確保に努力  
をされた事は速報日誌の如  
く感じますがその電線も下  
降して元へ戻り本当に千里  
走り千里を帰った電線を  
見ました。上野地区は八月  
一週間に亘り電材「電材危  
機」を全組合員作業車の両  
面に看板を付けてトラックに  
乗る三台の四班編成で伊賀

## 長崎方式の現地 視察をして

経済委員 角谷 利夫

以上のように主要な点を例  
示した上でご理解して頂  
きにくいことと思われま  
すので後日機会を作り組合  
員の方々に二報告する所  
でありますがよろしく御  
諒承下さい。

四日市支部五地区のうちで  
本年五月桑名で電気協同組  
合事務所が建設されたが、  
今度四日市電気会館の完成  
をみる事が出来ました。  
早速十一月の地区例会か  
ら内外装および駐車場の整  
備等一部未完成部分が残  
っていますが年内にすべて終  
り来年一月十七日午前十時  
から県内外の関係者をお招  
きして開館式を挙げるこ  
とにいたしました。

この会館は北三重ナショナル  
ル製品販売部が本社として  
使用していたもので同社が  
日本へ移転されるのを機に  
譲り受けたものであります  
上二四〇坪三階建て鉄骨  
コンクリート延二〇坪の建  
家の内二階は厨庫港電氣  
協会に貸し付け事務所とし  
て照明器具の展示場に使  
用し、三階は事務所、小会  
議室、大会議室を具へ地区  
委員のために使用すること  
にしました。なお三重電  
協会ならびに小規模センタ  
ーも同事務所内に置くこと  
になりました。毎月の例会  
各種講習会および支部役  
員会等はすべてこの会館で  
行われるほか広く同業関係  
の方々にも呼びかけて、当  
地区における電気関係の用

はすべて当会館を利用して  
頂くようにしたいと願っ  
ています。  
冷感も完了しましたので  
どうぞお気軽にお立ち寄り  
のうえ私用の休館もどん  
どお使い下さるよう希望  
いたします。今日この喜を得  
るまで水い間として今後も  
当分の間建設資金の積立に  
協力して頂く委員の皆さん  
には心からお礼申し上げます  
四日市を元新町四一七  
場所  
国鉄近鉄各四日市駅より車  
なら五分中部電力四日市営  
業所より約二〇〇米のいた  
って便利のよい所です。  
四日市を元新町四一七  
所在地  
電話(〇五九)二五一七  
七〇四三

四日市電気会館完成と  
今後の活用について  
四日市電気工事協同組合理事長 伊東直作

## ゆく寅 迎える兎

虎は千里を行き千里を帰る  
といわれますが昨年八月の  
石油爆発に端を発し七年来  
世界を恐怖させたオイルシ  
ョックに伴う狂乱物価に見  
舞い電線電材品不足に私  
も緊急理事会を招きV.A.  
D.V.線の断絶と確保に努力  
をされた事は速報日誌の如  
く感じますがその電線も下  
降して元へ戻り本当に千里  
走り千里を帰った電線を  
見ました。上野地区は八月  
一週間に亘り電材「電材危  
機」を全組合員作業車の両  
面に看板を付けてトラックに  
乗る三台の四班編成で伊賀

近ごろ  
読んだもの

わがからず屋とは対決しない  
わがからず屋や喧嘩屋の相  
手をやりこめようと思っ  
て、こちらも興奮して大所を張  
り上げて挑戦すれば、まず  
まず相手はあんなに敵意を  
持たず、頑固に抵抗するだけ  
です。頑固に抵抗するだけ  
の感情は、人を説得するの  
にとげにげしい人間は、実

うものです。いったん味方  
にするとこれはど忠実な人  
はあります。一さらわれも  
はり出しである。ちよつと  
暖めてやればきれいな文面  
が出てくる。といわれ  
ますが、まさにそのとおり  
だと思えます。わがからず  
屋を破れるには、先方が不  
愉快な態度をとればとるほ  
ど、こちらはごの逆に出る  
相手が腹を立て、ガミガミ  
言のたらい返さないで二  
三回手は打っている。これなら  
相手が怒りを直接ぶつけ  
ることが出来ず、とにかく感  
情的な対応だけはとられ  
ます。(伊勢)浜田

## 全日本電設資材卸業組合 三重県電材卸商組合

津市栄町二丁目南十九  
〇五九二二七六四一

## 国際電気工業株式会社

津市栄町二丁目南十九  
〇五九二二七六四一

## 株式会社扇港電機商会

四日市市北浜町八番十六号  
〇五九三二五一一〇一

## 大成電機産業株式会社

津市乙部神子二一番地  
〇五九二二八一九三九

## 有限会社日新碍子製作所

四日市市北浜町三一三  
〇五九三二五一一四三二

## 三重東芝電設株式会社

津市大字中原字西興二四七  
〇五九二二七一五三二一

## 三重菱電機株式会社

松阪市大黒田町三〇ノ二番地  
〇五九八二二二二六六二

## 南三重ナショナル特機株式会社

伊勢市河崎一丁目三一八  
〇五九六二二八一七五





※見やすいところに貼付けてご利用下さい。

(3) 引込線の取付け

- ア. 引込線は、引込用ビニール絶縁電線（D V線）または、600Vビニール絶縁電線もしくは、これと同等以上のものとする。
- イ. 引込線と公社架空電線との離隔距離は、60cm以上とする。  
ただし、管理者の承諾を得た場合は、30cm以上とすることができる。
- ウ. 引込線の強度は、つぎの値以上とする。

電線の太さ	強度
3.2mm以下	径間長の3%以上
7/1.6mm	4%以上

- エ. 引込線は、D V線引留がいし、緑廻しがいしまたは、低圧引留がいしにより支持する。  
ただし、公社柱が鋼管柱の場合は上記がいしと同等以上の絶縁効果のあるがいしを使用する。

- オ. 引込線の施設範囲はつぎによる。
- カ. 引込線の施設範囲を超える場合の取り扱いについて  
原則として一般共架とする。（共架料支払いの対象となる。）  
なお、急を要する工事で建替等が間に合わないときは、当該公社柱に仮取付けできる。

(4) その他

- ア. 引込線用継柱金具には、原則として「ケッチ」を取り付けないこと。  
ただし、管理者の承諾を得た場合はこの限りでない。
- イ. 引込線用継柱金具および引込線の取付けにあたっては、公社施設とくにケーブル被覆に損傷をおよぼさぬよう十分注意すること。

別表(1)

共架引込線施設範囲表(単位m)

1 回線

線種	径間	
	2コ燃	3コ燃
2.6mm D V線	35	30
3.2mm D V線	25	20
7/1.6mm D V線	25	20

2 回線

線種	径間	経間
2.6mm D V線 (2コ燃)	2.6mm D V線 (2コ燃)	15
	3.2mm D V線 (2コ燃)	15
	2.6mm D V線 (3コ燃)	15
	3.2mm D V線 (3コ燃)	15
2.6mm D V線 (3コ燃)	3.2mm D V線 (2コ燃)	15
	2.6mm D V線 (3コ燃)	15
	3.2mm D V線 (3コ燃)	15
	3.2mm D V線 (3コ燃)	15
3.2mm D V線 (2コ燃)	3.2mm D V線 (2コ燃)	10
	3.2mm D V線 (3コ燃)	10
3.2mm D V線 (3コ燃)	3.2mm D V線 (3コ燃)	10
	3.2mm D V線 (3コ燃)	10

中電ニュース資料

●48年度津支店管内引込委託店災害ゼロの偉業達成

48年度の引込委託店災害発生状況は、第1～3表のとおりであるが津支店管内は無災害の偉業を達成した。  
これは、各工事店の店主ならびに従業員の方々の安全意識の深さと努力の成果とみられる。しかしながら、全社管内においては、48年度の発生件数が6件と年間発生件数の最高を記録し、対前年比でも2件の増を示している。  
その原因別内訳は第3表のとおりで、6件のうち3件が無墜落安全帯の不使用または使用方法の不適によるものである。  
中部電気工事協力会安全推進会議で定めた49年度安全管理基本計画の中でもとくに無墜落安全帯の確実使用がうたわれており、各工事店主の方々は今一度、従業員の安全帯について点検整備をしてほしい。

(第1表) 引込委託店等災害発生状況(中電全社管内) (40年度～48年度) (名)

種別	年度								
	40	41	42	43	44	45	46	47	48
感電	2	1①	3②		1	1	1①	3②	
傷害	2		1	2①	2	2	1	1	6①
計	4	1①	4②	2①	3	3	2①	4②	6①

注 ①印は死亡者で再掲

(第2表) 津支店管内分

	47年度末(A)	49年3月当月	48年度末(B)	増減(B-A)	5/A×100%
直営	3	0	2	△1	67
東海	1	0	3	2	300
引込委託店	1①	0	0	△1①	0
公衆	6①	1	1	△5②	17
計	11②	1	6	△5②	55

(注) ①は死亡事故で再掲

(第3表) 48年度引込委託店等災害原因別発生状況

原	困	状	況
傷	安	ナスカス確認不良 (2)	○柱上、引込線取付作業中、フックをD環付近の鉄線に誤ってかけ、体重をかけた瞬間抜け墜落(4/27一宮、重傷)
			○柱上引込線取付作業中、鋼網(無墜落ではない)のフックが外れ、地上7mの位置より墜落(8/1浜松、軽傷)
害	(3)	使用方法の不良 (1)	○高圧架空引込線工事が終了し、降柱途中、手がすべり地上7mの位置より墜落、無墜落安全帯は所持していたが不使用(8/17岐阜、重傷)
			○(中部計器)検測計器取付作業中、端子カバーを外そうとした際、カバーが端子に接触、短絡アークにより火傷(11/5北、軽傷)
(6)	作業方法の不良 (3)		○(中央電気)入孔掘削(深さ2.2m)、矢板取付作業中土砂が崩れ落ちた。(1/10現七、死亡×1、軽傷×1)

●感電を予防しよう

うっとうしい梅雨期。われわれ電気マンにとっていやな季節だ。  
とくに感電災害に対して悪条件が重なる。即ち、発汗や雨にぬれた身体は人体の電気抵抗を感じ、高温多湿のために身体の抵抗力も弱まっている。おまけに電気施設も湿気を帯びている。こんなときこそ、十分な防護が必要である。たかが低圧と油断しては命をとられる。  
保安帽、ゴム手、完全な服装、そして、柱上では無墜落安全帯と装備は万全か。検電器もこの際チェックしておこう。  
人体は電気に弱い。男子では交流9mAで身体の不自由を失い、20mAで呼吸困難ないし呼吸停止を招くという。そうなれば生命も危い、感電してからの救急より、感電せぬための十分な予防が大切である。

昭和48年度電気工事業者立入検査集計表

Table with columns for region (四日市, 三重, 鈴鹿, etc.), inspection count, and number of workers. Total: 128 inspections, 137 workers.

昨年三月に実施された立入検査について左記の諸事項の注意がありましたので本年は昨年の結果を反省し不備の点がないよう心がけましよう。

一 帳簿の整理について 一年別に表紙をつけて五年度間保存すること

近く行われる業法による立入検査に備えて

ろに提示すること 三主任電気工事士の出勤簿を作成すること 四主任電気工事士の職務について

組合の動き

Table listing committee meetings (役員会, 総代会, etc.) with dates and topics.

家庭用電気設備安全運動 大成をあげ幕をとどろ

安全運動も今年で第二回目 行方一方各支部地区には 役員が出勤し市内の繁華街



待ち遠しい事務所 完成に近づく

九月二十五 今日すでに電気工事内装 日津市青谷 業組合事務所の高台に工

Advertisement for '9.696%' bonds from Chubu Electric Power Co., Ltd. with text 'えらぶ時代、ふやす時代' and 'いっそう有利な'.

Advertisement for '鳥羽地区だより' (Birdo District Newsletter) with a photograph of people and text about local news.